

## 『埼玉県民の気候変動に関する意識調査』

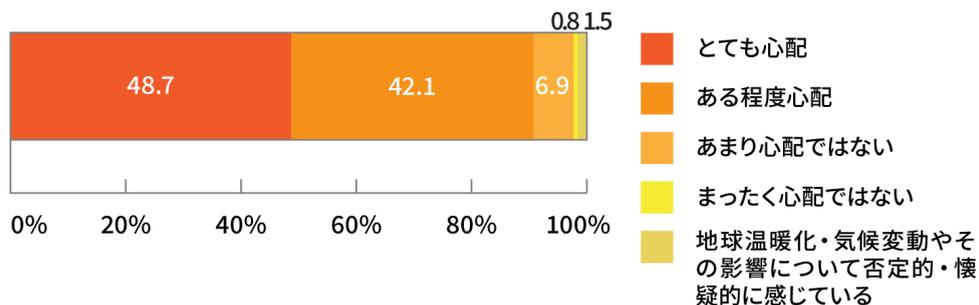
### <調査方法>

対象：埼玉県在住の1000人を対象に18～79歳男女で10代刻み  
地域：埼玉県  
方法：グリーンピースが楽天インサイト株式会社に委託してオンラインで実施  
時期：2024年7月5日（金）～2024年7月10日（水）  
有効回答数：1000人

### <調査結果>

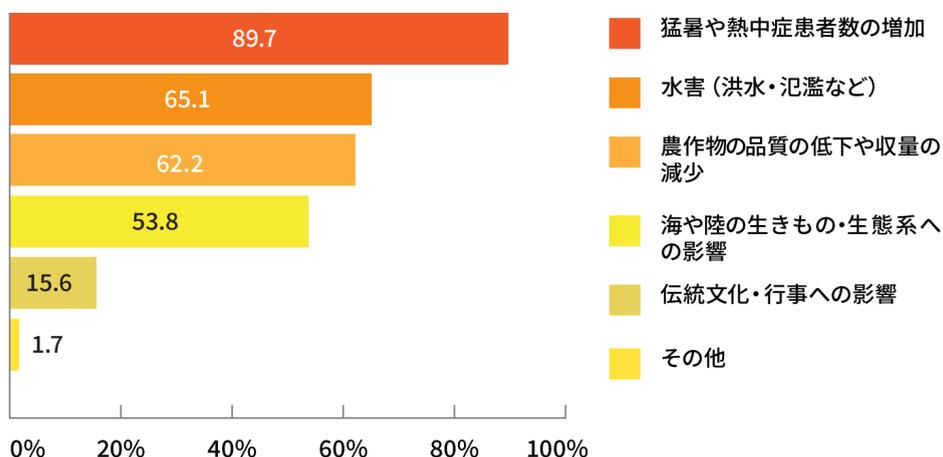
1. 埼玉県民に地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じているか聞いたところ、「とても心配」が最多で48.7%。「ある程度心配」（42.1%）と合わせると、気候変動の影響について心配な人は90.8%となった。

図1. あなたは、地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じていますか？



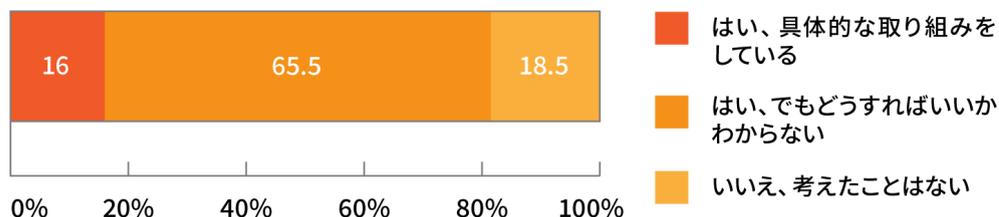
2. 気候変動の影響を受けていると感じる現象について聞いたところ、「猛暑や熱中症患者数の増加」が最多で89.7%、次いで「水害（洪水・氾濫など）」が65.1%、「農作物の品質の低下や収量の減少」が62.2%となった（複数回答可）。

図2. あなたはどんな現象で気候変動の影響を受けていると感じますか？当てはまるものをいくつでも選んでください。（いくつでも）



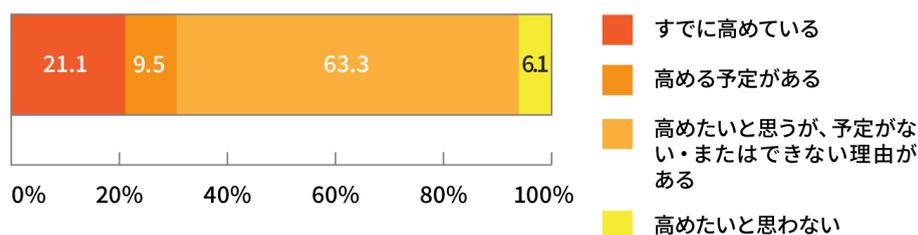
3. 地球温暖化・気候変動を解決するための行動をしているか、または意識しているか聞いたところ、具体的な取り組みをしている人は全体の16.0%と2割未満で、65.5%の人が、解決するための行動を意識しているものの、どうすればいいかわからないと答えた。

図3. あなたは地球温暖化・気候変動を解決するための行動をしている・または意識していますか？



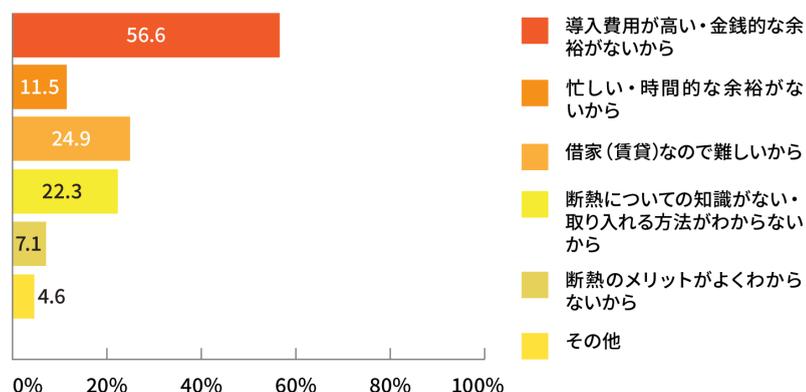
4. 地球温暖化・気候変動による影響をできる限り抑えるために、使用するエネルギー量の大幅削減の方法の1つとして、住まいの断熱性能を高めたいと思うか聞いたところ、「すでに高めている」「高める予定がある」が約3割に留まり、63.3%の人が「高めたいと思うが、予定がない・またはできない理由がある」と答えた。

図4. 地球温暖化・気候変動による影響をできる限り抑えるためには、使用するエネルギー量を大幅に削減する必要があります。削減の一つの方法として、建物の「断熱」性能を高めることがあげられますが、あなたの住まいも断熱性能を高めたいと思いますか？



5. 断熱性能を高めたいと思わない、高めたいと思うが予定がない・できない人に理由を聞いたところ、「導入費用が高い・金銭的な余裕がない」が最多で56.6%、次いで「借家なので難しい」が24.9%、「断熱についての知識がない・取り入れる方法がわからない」が22.3%となった。

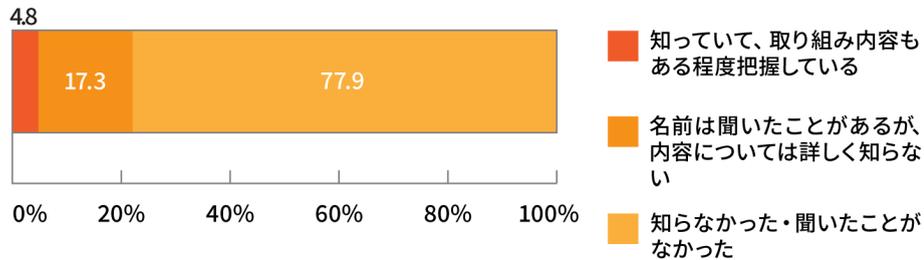
図5. 前問で「高めたいと思うが、予定がない・またはできない理由がある」「高めたいと思わない」とお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか？ 当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)



6. 持続可能なまちづくりを埼玉県が支援するプロジェクト、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の取り組みについて知っているか聞いたところ、約8割が知らなかった・聞いたことがなかったと答え、取り組み内容について把握していると答えた人は4.8%となった。

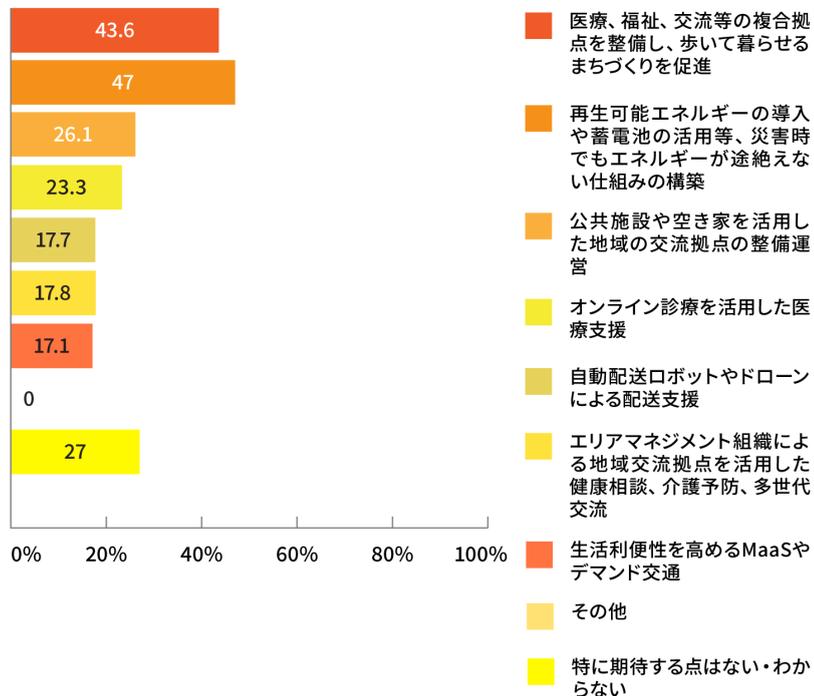
図6. 埼玉県では、超少子高齢社会を見据え、市町村の「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の3つの要素を兼ね備えた持続可能なまちづくりを県が支援するプロジェクト、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」\*を行っています。知っていましたか？

\*埼玉県「埼玉版スーパー・シティプロジェクトについて」



7. 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に期待する取り組みを聞いたところ、「再生可能エネルギーの導入や蓄電池の活用等、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築」と答えた人が47%、「医療、福祉、交流等の複合拠点を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを促進してほしい」と答えた人が43.6%となった。

図7. 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」のウェブサイトには「取組例」として下記のようなものが掲載されています。あなたが特に期待する点は何ですか？当てはまるものをいくつでも選んでください。(いくつでも)



<本件に関するお問い合わせ>

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン

広報担当 平井ナタリア恵美 TEL: 080-6558-4446 Email: [nataliaemi.hirai@greenpeace.org](mailto:nataliaemi.hirai@greenpeace.org)